

The Episode of Oil Massage⑦**五十肩**

体質研究所主宰 松原秀樹

60歳の美容師の話。毎日長時間ドライヤーを持っているせいで、左肩が「五十肩」になって、夜も目が覚めてしまうほどの激痛をおこした。「2週間後に結婚式の着付けの仕事が入っているから、何としてもそれまでに治したい」とのこと。

脊柱のオイルマッサージと開節法で、肩背部をゆるめて、毎日肩関節の周辺にたっぷりオイルを擦りこんで、「遠赤外線温熱ベルト」で肩を温めるように指導した。

するとナント！**たった2週間で完治**してしまった。

「五十肩は何年もかかる」という常識は大ウソなのだ。骨折でさえ1ヶ月もあれば骨が付いて、リハビリを含めても2~3ヶ月で完治するというのに、肩の関節炎が何年も治らないというのはおかしいだろう。

ちなみに「関節にカルシウムが蓄積しているから、痛くても動かさないといけない」というのも間違い！カルシウムが蓄積しているのは“炎症を鎮めるため”であって、そもそも“腕を使いすぎて、肩の筋肉に過大な負担をかけすぎたせいで炎症が起きた”のだから、休ませることが何より重要なのだ。

五十肩の原因は、腕を酷使して肩に過大な負荷をかけ続けたことだ。その結果、疲弊した筋肉や腱が炎症を起こしたにすぎない。患者の肩甲間部はパンパンに盛り上がり硬くなっていて、肩甲骨が前にずれている。

オイルマッサージで肩甲骨のコリを消失させ、肩甲骨を背骨に引寄せてあげると、急速に楽になる。また、肩関節にオイルを擦りこんで遠赤外線で温めると、免疫細胞の修復作業が促進される。こうすると大抵3日くらいで痛みが軽減し、1ヶ月くらいで完治する。

関節に沈着したカルシウムも、炎症がひくとマクロファージが貪食していくから、自然になくなっていく。